



平和資料館 草の家 だより

No.119

2013年6月21日発行



草と草の根の連帯をあらわす
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586
E-mail: GRH@ma1.seikyou.ne.jp <http://ha1.seikyou.ne.jp/home/Shigeo.Nishimori>

「2013ピースウェイブ」を成功させよう

草の家館長 岡村正弘

1979年7月4日に高知空襲展を開催してから、休むことなく毎年続けて今年35回目の「高知空襲展」(戦争と平和を考える資料展)になります。

最初の空襲展は、市役所西となりの市民の図書館で、県下全域から寄せられた戦争の悲惨さを物語る資料や遺品などを展示し、8000人を超える人々が入場しました。「ここも戦場だった」という県民の思いの結晶でした。1983年から「平和七夕まつり」、1984年から「平和美術展」、「平和映画祭」、「反核平和コンサート」が行われるようになり、こうした夏に行う平和・文化活動を総合し、1996年から「ピースウェイブ」(平和の波)と呼ぶようになりました。それから17年、毎年多彩な活動を繰り広げています。今年は「灯ろう流し」、「イラク戦争検証展」、「アジアの人々が連帯するつどい」、「ピースアクションリレー*ユニセフのつどい」、「掩体コンサート」など10余の行事があります。

毎年とり行われる「ピースウェイブ」にはいったいどれくらいの人々が関わっているでしょうか。「平和七夕まつり」のつるを折る人など含めると膨大な人数になります。



この行事が高知市、高知市教育委員会、報道各社の後援を受け、継続されていることも大切なことです。

草の家はこの「ピースウェイブ」の事務局を務め、財政は草の家会員のみなさんからのカンパに大きく支えられています。

憲法改悪、米軍基地強化、消費税増税、社会保障改悪、原発再稼働、国民の貧困化など「平和と生活」が危機に瀕しています。

「ピースウェイブ」の成功が「平和と生活」をまもる県民の底力になると確信しています。草の家会員のみなさんの参加と協力をよろしく願います。みんなの力で成功させましょう。

今年も去年に引き続き、画家の圭三さんが絵を担当してくれました(左)圭三さんによると、「TPP問題を意識して稲を描きました...」とのこと。おかげさまで「稲穂の海を力強く泳ぐ鳩」が印象的なポスター・チラシとなりました。

[旧高知海軍航空隊通信所跡を保存・整備して歴史資料や平和教育に

草の家副館長 岡村啓佐

高知大学農学部敷地内に貴重な戦争遺跡が残っています。そこは旧高知海軍航空隊通信所跡で、2005年に高知大学人文学部「臨海地域における戦争と海洋政策の比較研究」研究班によって発掘調査が行われました。防衛省資料によれば、通信所には4つの地下構造物があったことになっていますが、入り口の一部が確認できた一つを対象に調査しています。

その報告によれば、地下に延長15.5m、幅2.7m、高さ2.4mのコンクリート製耐弾式通信施設が確認され、南と北に2か所ずつ4ヶ所の出入り口があること。内部は4つの部屋に分かれており「保存状況は極めて良好であり県下の戦争遺跡の中でも特筆すべき存在」とされています。

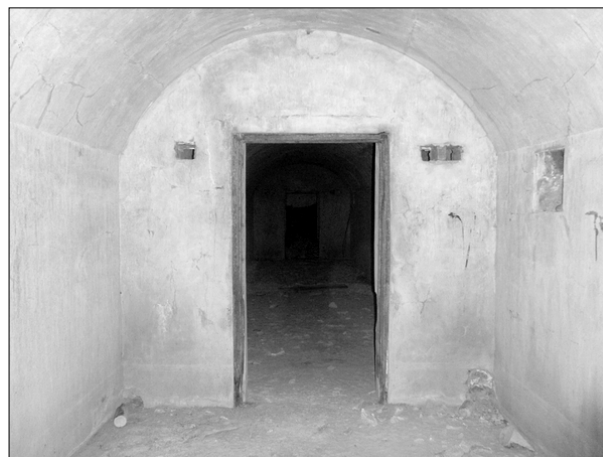
ところが、学問研究の府である大学が、歴史研究の重要な史料であることを承知で、しかも無届で跡地を改変し駐車場にしようとしていることは断じて許されないことから、5月16日、高知大学に対して緊急に遺跡内の構造物の現状を確認し、保存処置をとること。そして保存・整備を目的とした調査を行い、歴史資料や平和教育の教材として活用することなどを申し入れました。

旧高知海軍航空隊は、戦争末期には特攻基地となっていました。現在の高知龍馬空港は旧海軍の飛行場を踏襲したもので、現在の農学部キャンパスには通信所、兵舎、格納庫、練兵場などの施設が並び、航空隊の中核機能を果たしていました。

沖縄への特攻攻撃では「白菊」特攻隊が編成され、16歳の子どもも含む、52名の若者が戦死しました。

戦後、不戦の誓いの下で旧海軍航空隊の跡地は大学に生まれ変わりました。通信所と牧場地に残る指揮所は数少ない当時の貴重な施設で、今や戦争の実相を伝える貴重な戦争遺跡となっています。地域と戦争、大学と戦争のかかわりを知る証でもあります。

戦争遺跡を積極的に保存・整備し、歴史資料や平和教育に活かすことは学問研究の府である大学の責務であると考えます。



地下に眠る通信所遺跡。



5 / 16 記者会見の様子(草の家)。

高知大学農学部のある南国市では、周辺に残る掩体壕7基を市史跡として指定、そのうち1基を補強整備し、5月10日に掩体公園として完了しました。

高知龍馬空港周辺には、全国屈指の弥生集落跡である田村遺跡があり、中世には守護所田村城館跡が残っています。旧高知海軍航空隊通信所跡は掩体壕群とともに戦争遺跡群を形成しています。原始古代から中世、近現代の歴史が刻みこまれた野外ミュージアム的な環境にある地域といえます。